

あらたま

新玉地区

面積：2.26km²

人口：11,313人（高齢化率 26.4%）

世帯数：6,376世帯

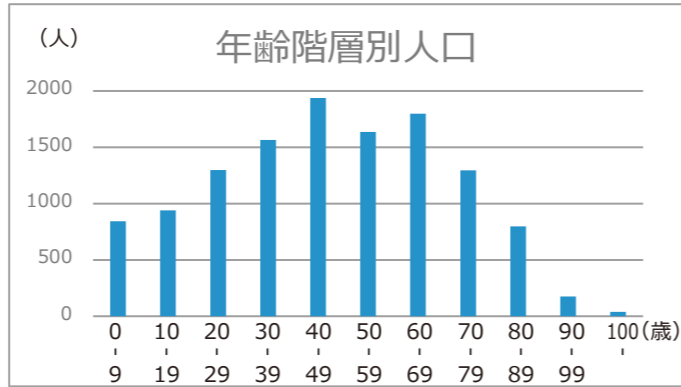


【地区の特色】

新玉地区は、松山市の陸の玄関口 J R 松山駅を中心に東西南北に広がっている。西側地区は農・商・住宅地であり文化遺産も多い。東側地区は商工業域とともに都市型に発展しており、新旧の違和感がなく両地区の生活環境が相まって文化度も高い。特に組織間での連帯感が強く、調和のとれた地区である。



陸の玄関口・J R 松山駅前



【地域住民からみた地域の状況】

| | |
|-------|--|
| 地区の強み | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館が地区の中心地にあるのでみんなが集まりやすい ・交通の便が良い ・住宅地では顔見知りも多く声かけがしやすい ・地域の一体感がある ・地区内の各団体の連携が取れている ・防災大会への参加者が多い ・防災の意識が高い ・住環境が整っている（病院、スーパー、食事処、文化施設など） ・地域の広報誌が充実している ・災害が少ない ・コミュニティセンターがある |
| 地区の弱み | <ul style="list-style-type: none"> ・マンションの住人等地区のコミュニケーションが少ない ・サロン等への男性の参加が少ない ・商店が減っている ・商業地域なので住宅地が少ない ・道幅が狭く救急車や消防車が入らないところが多い ・危険箇所がある（宮前川処理場付近） ・災害のとき集合場所が少ないので遠くて行けない（高齢者等） ・独居高齢者や高齢者のみ世帯の増加 ・後継者や担い手不足 ・空き家が増加している |
| 福祉課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・中心地のためマンションが多く、住民間の交流が少ない ・オートロックマンションや外出しない高齢者の安否確認が難しい ・緊急連絡先になりたくない家族がいる ・関わってほしくない独居高齢者がある ・日中、親が留守の家庭の見守り ・見守りの対象とならない高齢者夫妻が心配 |

新玉地区社会福祉協議会

新玉に 笑顔の福祉 広げよう

| | |
|--------------------------------|--|
| 構成団体 | 地区民協・公民館・自治連合会・まちづくり協議会・食生活推進協議会 高齢クラブ連合会・青少年健全育成連絡協議会・みらいクラブ・交通安全協会 ボーイスカウト・小学校・中学校 |
| 主な取り組み | 活動内容 |
| 敬老作文 “おじいさんおばあさん お元気ですか” | 毎年、年末にボーイスカウトと一緒に独居高齢者を訪問し、地域の小中学生が祖父母に宛てた作文（冊子）と手作りのプレゼントを配布しています。 |
| ふれあい料理教室 | 年に5回、地域の高齢者と一緒に調理し、食事やゲームなどで交流を図っています。 |
| 福祉講座や研修会の開催 | 高齢者の生活に関するテーマに沿った講演を年2回実施しています。また、協力会員研修会は福祉施設への見学を1日研修として行っています。 |

れんげ草まつり

毎年4月に地区の田んぼをお借りして、新小学1年生と高齢者など3世代によるれんげ草まつりが開催されています。沢山のれんげの花に囲まれ、カエルやバッタなど小さな生き物とたわむれ、かんむりや首飾りなどを作り、交流を深めています。



<地区社協が目指すもの>

J R 松山駅周辺では現在、開発が進んでおり、地区の環境や景観も大きく変わりつつあります。これらの事業は平成 38（2026）年度完成が予定されていますが、線路を挟んで東西交通の安全性と利便性が向上することで、駅周辺がより魅力ある地域となり、人の交流や人口の増加も予想されます。また、市民の交流や健康づくり拠点として松山市総合コミュニティセンターがあり、憩いの場である総合公園にも隣接している地域です。地区社協としては、「新玉に 笑顔の福祉 広げよう」の理念のもと、心豊かな地域を目指します。

| | | | | |
|-------|-------------------------|-----------|----------------------------|---------------------|
| 地区の状況 | ■地区民協 民生委員 主任児童委員 | 25名 2名 | ■町内会・自治会・区長会等 | 24団体 |
| | ■まち協の設立 | 平成 27 年度 | ■高齢クラブ ■子ども会 ■自主防災組織 | 6クラブ 10団体 4組織 |

松山の玄関口となる JR 松山駅があり、そこを拠点とし市内各地へと移動できる利便性が特色です。高齢者の単身世帯増加や子どもの見守り、空き家問題などを抱える一方で、各団体の組織力と地域住民相互の連携によって地区の暮らしが展開されています。新玉地区社協では、小・中学校と連携して子どもたちの年長者に対する尊敬とやさしさを育むことを目的に作文や標語を募集し、冊子にして地域の高齢者に届ける活動を長年継続しており、伝統的な活動の一つとなっています。また、松山市総合コミュニティセンターや新玉児童館、南江戸公園などの社会資源の充実は、高齢者世帯や多様なライフスタイルを持つ子育て世代にとっても「子どもの健やかな成長を育む」暮らしやすい環境であるといえるでしょう。

ココがポイント



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

| | |
|----|------|
| 第1 | 五明地区 |
| | 伊台地区 |
| | 湯山地区 |

| | |
|----|-------|
| 第6 | 宮前地区 |
| | 三津浜地区 |
| | 高浜地区 |
| | 興居島地区 |
| | 中島地区 |

| | |
|----|------|
| 第8 | 浅海地区 |
| | 立岩地区 |
| | 難波地区 |
| | 正岡地区 |
| | 北条地区 |
| | 河野地区 |
| | 粟井地区 |
| | 立岩地区 |

| | |
|------|-------|
| 第2 | 久米地区 |
| | 浮穴地区 |
| | 小野地区 |
| | 石井東地区 |
| | 石井西地区 |
| 久谷地区 | |

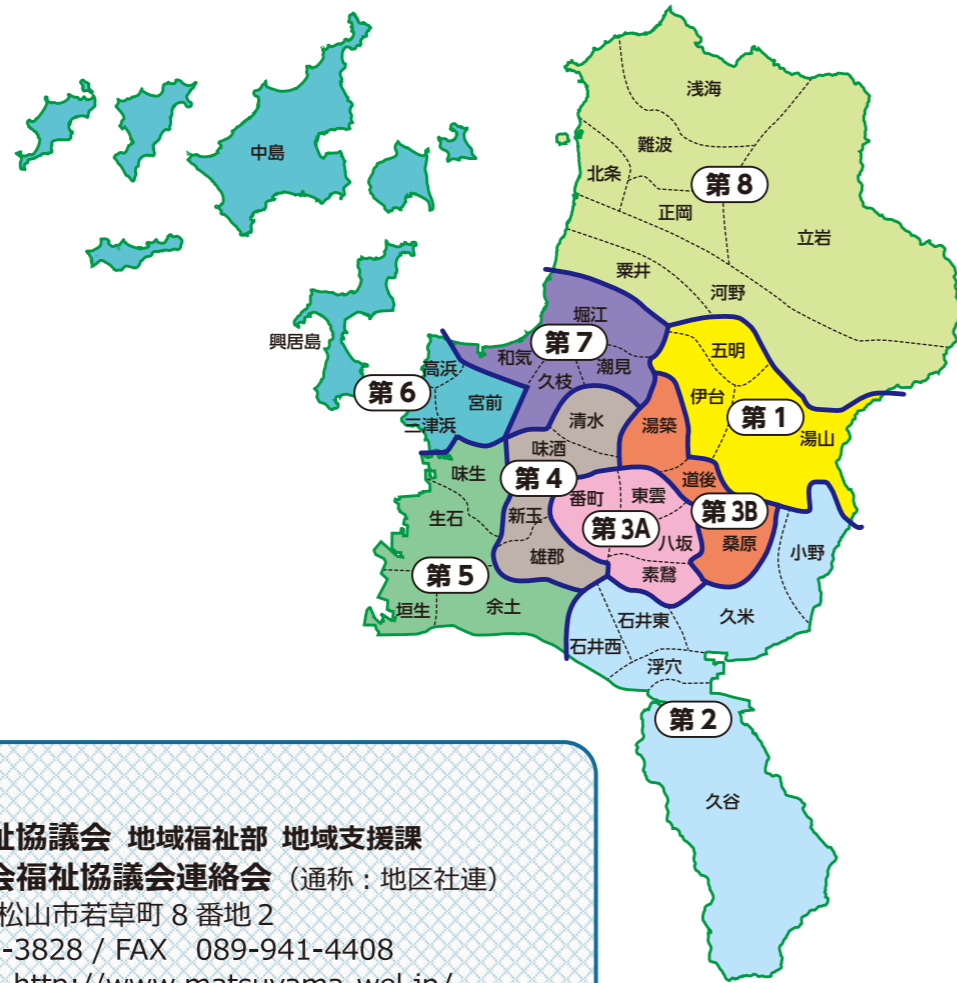
| | |
|----|------|
| 第7 | 潮見地区 |
| | 久枝地区 |
| | 和気地区 |
| | 堀江地区 |

| | |
|-----|------|
| 第3A | 番町地区 |
| | 八坂地区 |
| | 東雲地区 |
| | 素鷲地区 |

| | |
|-----|------|
| 第3B | 道後地区 |
| | 湯築地区 |
| | 桑原地区 |

| | |
|----|------|
| 第4 | 雄郡地区 |
| | 新玉地区 |
| | 清水地区 |
| | 味酒地区 |

| | |
|----|-------|
| 第5 | 余土地地区 |
| | 垣生地地区 |
| | 生石地区 |
| | 味生地地区 |



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

| | |
|---------|-------------------------------|
| ■地区民協 | 平成30年4月1日現在の定数 |
| ■まち協の設立 | 平成30年11月1日現在の設置状況 |
| ■町内会等 | 平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日) |
| ■高齢クラブ | 松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在) |
| ■子ども会 | 平成30年度松山市子ども会連合会加入数 |
| ■自主防災組織 | 自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在) |

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏